

市場調査レポート

サステナブルマテリアルの現状と将来展望 2022

～ バイオマス/生分解性プラスチック、CNF 等サーキュラーエコミーに貢献する材料・技術の最新動向 ～

本調査レポートは、地球温暖化・気象変動、海洋プラスチックごみ問題等を含む環境汚染など、世界的な課題の解決、及びサーキュラーエコミー社会の実現に貢献するサステナブルな材料・技術の市場の現状・動向などを取り纏めることで、今後の市場の方向性を展望しています。

- ・サステナブルマテリアルの捉え方と概要
- ・サステナブルマテリアルが求められる社会的背景・情勢
- ・国内外の主な関連政策・法規制の把握・概要
- ・サステナブルマテリアル市場の現状と今後の方向性を展望
- ・対象材料種別ごとの市場概況・用途動向・主要地域別の需要動向の把握

\* 発刊 : 2022 年 6 月 15 日 \* 体裁 : A4版 171 頁  
\* 発行元 : 株式会社シード・プランニング  
\* 価格 : 書籍版 176,000 円 (税込)

取り扱い 東洋紡 PPS

PPS 情報担当者行き

市場調査レポート「サステナブルマテリアルの現状と将来展望 2022」申込書

(株)東洋紡PPS 下記共通 e-mail に送信をお願い致します。

東洋紡 PPS : [semi@toyobo-pps.co.jp](mailto:semi@toyobo-pps.co.jp)

貴社名		申込日	
住所	〒		
TEL		FAX	
所属		役職	
フリガナ 氏名		E-mail	
書籍版	冊		

◆お問い合わせ先 : (株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 大阪

〒530-0003 大阪市北区堂島 2 丁目 1 番16号 フジタ東洋紡ビル 4階

TEL 06-6348-1363 情報担当者宛 e-mail: [semi@toyobo-pps.co.jp](mailto:semi@toyobo-pps.co.jp)

【お客様情報の取扱いについて】

ご記入事項は、今回のお申込確認などの事務処理、弊社および東洋紡グループ会社からのご案内のみに利用いたします。ただし、他社出版物で、弊社が取次販売する為に版元からの要請があった場合は、会社名情報のみ開示することがあります。

## 目次

### I. 総括

### II. 概要

#### 1. サステナブルマテリアルの概要

- 1) 概要と対象範囲
- 2) サステナブルマテリアルの求められる背景
- 3) ライフサイクルアセスメント(LCA: Life Cycle Assessment)
- 4) マスバランス方式

#### 2. 国内の主な関連政策・法規制

- 1) バイオ戦略 2020
  - (1) 概要
  - (2) 戦略の司令塔機能強化
- 2) プラスチック資源循環戦略
  - (1) 背景・ねらい
  - (2) 重点戦略
  - (3) 今後の戦略展開
- 3) 「プラスチックに係る資源循環の促進に関する法律」  
(プラスチック資源循環促進法)
- 4) バイオプラスチック導入ロードマップ
  - (1) 導入の基本方針
  - (2) プラスチック製品領域別バイオプラスチック導入方針
  - (3) 導入に向けた国の施策
  - (4) バイオ由来製品の認証制度
  - (5) グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律)
- 5) 海洋生分解性プラスチック開発・導入普及ロードマップ
  - (1) 本ロードマップの位置付け
  - (2) 技術開発・導入普及の具体的方向性
- 6) カーボンリサイクル技術ロードマップ(改訂版)
- 7) 炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発

#### 3. 海外の主な関連政策・法規制

- 1) 欧州
- 2) 米国
- 3) 中国

#### 4. サステナブルマテリアル市場概況

- 1) 市場規模推移・予測(2019年～2025年)  
(参考)世界のバイオプラスチック生産能力
- 2) 用途動向
- 3) 主要地域別の動向
- 4) 市場展望と主な課題点・問題点

#### 5. 主要参入企業・研究機関一覧

### III. 主要製品別市場概況・

1. バイオマスプラスチック
2. 生分解性プラスチック
3. CNF
4. バイオ添加剤・可塑剤
5. CCU
- 5-1. 人工光合成
6. バイオミメティクス

※ 1. バイオマスプラスチック、2. 生分解性プラスチックは  
主要樹脂種別に記載  
< 共通項目 > (\*一部市場を除く)

- 
- 1) 概要
  - 2) 要素技術、技術・開発動向
  - 3) 主要参入企業・研究機関
  - 4) 市場規模推移・予測(2019年～2025年)
  - 5) 用途動向
  - 6) 主要地域別需要ウエイト(2021年)

### IV. 企業・研究機関ケーススタディ

NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)

アルケマ

岩谷産業

加藤産商

カネカ

産業技術総合研究所

大王製紙

ダイセル

ダウ・ケミカル日本

中越パルプ工業

東レ

日本製紙

パナソニック

三井化学

三菱ガス化学

三菱ケミカル

Spiber